



災害時に備えて

名古屋市と市社協・ボランティアの連携



名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター
野川 祐史

Menu

I

これまでの連携内容

II

コロナ禍における連携内容

III

今後の連携及び課題

I これまでの連携内容

I 連携の変遷①

- 平成11年 市と市社協が「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定」を締結
- 平成14年 市が災害ボランティアコーディネーター養成講座を開始。修了生によるグループ化が進む。
- 平成14年 「災害ボランティアコーディネーターなごや」発足
- 平成16年 市と区社協が「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定」を締結
- 平成17年 市と災害ボランティア団体が「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定」を締結
※平成22年までに全区の災害ボラグループと協定を締結

I

連携の変遷②

- 平成18年 「なごや災害ボランティア連絡会」を設立
 - ※市内災害ボラ団体13団体(現在は18団体)、レスキューストックヤード、名古屋国際センター、市、市社協で設立
 - ※平常時から連携とネットワーク化の推進を図るとともに、防災に関する啓発活動を協力して実施することにより、災害時におけるボランティア活動を円滑に推進することを目的として設立。以後 毎月開催
- 平成18年 災害ボランティアセンター三者合同研修の開催
 - ※市・区役所、市・区社会福祉協議会、災害ボランティアの連携・協働を目的に毎年開催

I

連携の変遷③

- 平成19年 「災害ボランティア活動用資器材の管理に関する協定」の締結
 - ※なごや災害ボランティア連絡会と(社)名古屋建設業協会及び名古屋市で協定締結
- 平成21年 名古屋市内16区全てに災害ボランティア団体発足
- 平成24年 名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイドを作成
- 平成29年 (上記ガイド)追加補足版
(上記ガイド)改定様式集を作成

I

連携内容

名古屋市地域防災計画【平成9年策定】

- 平常時から連携を図る団体として、市・区社協、市民活動団体（ボランティア団体など）を明記
- 災害ボランティアセンターの設置について、「市（区）本部にあっては（中略）、市（区）社協の協力を得て、『市（区）災害ボランティアセンター』を設置する」と明記 ＜公設民営＞
- 市と市社協、市と区社協が災害ボランティアセンター運営に関する協定締結
- 市とレスキューストックヤード・災害ボランティア団体が災害ボランティアセンター運営に関する協定締結
- なごや災害ボランティア連絡会と（社）名古屋建設業協会及び名古屋市で災害ボランティア活動用資機材の管理に関する協定締結

I

連携内容

区社協と区災害ボランティア団体との連携状況等

事務局機能を担っている

7区

【令和3年9月 市社協調べ】

定例会への参加

16区

毎回…11区 随時…5区

【令和3年9月 市社協調べ】

災害VC設置・運営訓練の実施（防災訓練以外）

10区

（令和3年度）

【令和3年9月 市社協調べ】

区	災害ボランティアグループ名	区	災害ボランティアグループ名
千種	災害ボランティアちくさネットワーク	熱田	あつた災害ボランティアネットワーク
東	名古屋ひがし災害ボランティアネットワーク	中川	名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク
北	名古屋きた災害ボランティアネットワーク	港	名古屋みなと災害ボランティアネットワーク
西	なごやにし防災ボランティアの会	南	名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク
中村	なごや中村災害ボランティアネットワーク	守山	防災ボラネット守山
中	なごや防災ボランティアネットワークなか	緑	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク
昭和	なごや防災ボランティアネットワーク昭和	名東	名東区災害ボランティアの会
瑞穂	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	天白	天白でいぷり

I 連携内容

災害ボランティアセンター設置・運営ガイド

【平成24年度作成・29年度追加補足版作成・29年度改定「様式集」発行・令和2年度コロナ追加補足版作成】

- 災害ボランティアセンターが迅速かつ的確に設置され円滑に運営されるようポイントとなる点をまとめた
 - 区役所、区社協、区ボランティア団体が顔を合わせ、協議や情報共有を行う**際のツールとして活用
- 【追加補足版】
- 市センターの役割を整理、複数区合同ボラセンの設置手順を示す、また現状の課題を整理し、その方向性まとめたもの
- 【様式集】
- 実際に災害ボランティアセンターで使用する様式をまとめたもの
- 【新型コロナウイルス禍における設置・運営の考え方(追加補足版)】
- 新型コロナウイルス感染が懸念される状況におけるセンター設置・運営等について示したもの

Ⅱ コロナ禍における連携内容

Ⅱ 連携の変遷④

●令和2年度

- 災害ボラセン設置・運営ガイド(新型コロナウイルス禍における設置・運営の考え方(追加補足版)の作成
- NPOおたがいさま会議(レスキューストックヤード等が事務局)に、名古屋市、名古屋市社協、愛知県、愛知県社協が協力団体として毎週参加(平常時からの連携)

●令和3年度

- 災害ボラセンのIT化に向けた取り組み
 - ・“事前受付システム構築”や“災害時のSNSを活用した情報発信”に向けた「IT打ち合わせ」
 - ・ボランティアのITスキル向上等を目指した「IT分科会」
- ※いずれについても、名古屋市・名古屋市社協・災害ボランティアの三者で毎月協議

Ⅱ 連携の変遷⑤

- 令和3年度(続き)
- 資機材分散管理の実施
 - ※(社)名古屋建設業協会の協力による名東倉庫を含めた市内5か所での資機材分散管理の実施
- 資機材分散管理に伴う「交流企画」の実施
 - ※(社)名古屋建設業協会・名古屋市・なごや防災ボラねっと・名古屋市社協での交流企画を実施
- 協働型災害ボラセン運営に向けた、関係団体と三者との顔合わせの実施
- 災害ボランティアセンター立ち上げまでの三者の動きの作成
 - ※発災から災害ボラセン立ち上げまでの三者の動きの見える化
- 中央共同募金会「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成」への三者(名古屋市・レスキューストックヤード・名古屋市社協)連携による助成申請(予定)

資器材の分散管理の状況について

区分	区	名古屋建設業協会	なごや災害ボランティア連絡会
①北西	北・西 中・中村	山田組 (中川)	名古屋中村災害ボランティアネットワーク
②北東	千種・東 守山・名東	中部土木 (名東)	災害ボランティアちくさネットワーク
③南西	熱田・中川 港・南	服部組 (熱田)	あつた災害ボランティアネットワーク
④南東	昭和・瑞穂 緑・天白	村上建設工業 (緑)	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク



- 現在も名東倉庫は使用しており、名東倉庫に全体の2／6を残し、4ブロックの倉庫に1／6ずつ分けた形。
- 名古屋市以外での災害への貸し出しは、原則として「名東倉庫」で保管している資器材を活用する。
数量等が不足する場合は、②→①→③→④の順に、搬出する。

コロナ禍における連携内容

関係機関との連携（協働型災害ボラセン運営に向けて）

コロナ禍であるため、被災地外からの支援は困難であることから「協働型災害ボランティアセンター」の必要性が高まる。

○コープあいちとの連携

名古屋市・なごや防災ボラねっと・市社協との顔合わせを実施

※全社協と日本生協連が協定を締結

○名古屋青年会議所との連携

名古屋市・なごや防災ボラねっと・市社協との顔合わせを実施

上記三者と名古屋青年会議所との四者協定を締結予定

※全社協と日本青年会議所が協定を締結

○連合愛知との連携

名古屋市・なごや防災ボラねっと・市社協との顔合わせを実施

※県社協と日本労働組合総連合会愛知県連合会が協定を締結

○ライオンズクラブとの連携

担当者同士での連携

※県社協とライオンズクラブ国際協会334-A地区が協定を締結

[illegible]

Ⅲ

今後の連携及び課題

Ⅲ

今後の連携及び課題について

今後の連携

- これまでの名古屋市での連携の取組みを継続
- 愛知県社協が令和4年度に導入するボランティアセンター運営支援アプリ“ハグクミ”に、県内市町村と共に参加予定
(具体的な運用方法について、名古屋市・なごや防災ボラねっと・名古屋市社協で共有)
- 愛知県が開催する「県災害支援のためのボランティア情報共有会議」への参加
- 中央共同募金会が実施する「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成」(申請予定)を活用した、災害時に備えた資器材の整備及びネットワークの構築

Ⅲ 今後の連携及び課題について

連携における課題

- 名古屋市という“政令指定都市”の枠内での連携だけではなく、
県域や全国における連携という視点への拡大
- 発災時における技術系NPO等の県外からの受入体制の整備
- ICTを活用した災害ボランティアセンター運営に向けた取り組み
の推進(仕組みの構築と、運営者向けのICT講習)
- 協働型災害ボランティアセンターの運営を目指した地域住民や
地元企業との連携の土壌づくり
- 被災者への支援にモレ・ムラがないような重層的な支援
(災害ボラセン、NPO、企業、住民組織・・・様々な機能において
助け合えるような意識の醸成)
- 地域における人間関係の希薄化や生活困窮、引きこもり等による
孤立が進む中での、平常時からの助け合い意識の醸成